



☆ 俺達は大審院迄手ふつだぞッ川川

☆ 二年ひも三年ひも、やるなら来いッ川川

☆ 俺達は團結の力でブツ 飛ばせッ、之からが五口

等の、眞の、戦ぞッ川川

☆ 之からが 吾等乃 眞の 戦

だッ 川川

☆ 双等乃 彈圧 を 俺達の 團結 彈 び ぶッ

飛 ば せ っ 川 川

一九二七、三、卅一、

實用同志會爭議團本部



會社の切崩しに小型従業員嘲笑を浴す。

—— 東京乗合車輜部も奮然起つ——

☆ 従業員大會、三社合同大會に於て、吾々の要求は巨彈となつて會社の重後連の心膽を寒からしめたのは昨日の事だ、會社は俺達の堅い決意と團結の力に狼狽し慌て其言葉で俺達の彈圧を切崩そうと企始めた、かたく車を高い値で俺達に賣付け、加えバラ棒に高い社費を負担させ居り乍ら、手前たちの借金の穴埋めに俺達を馬同様に酷使つて居り乍ら、やれ會社と従業員は同身一体だの従業員不幸は會社の不幸だと白々しく俺達を騎者せんとするのだ。誰が糞ッ騎されるもんか山崎の狸野郎川川 馬鹿双ッ、俺達が借金の山を負ふ自由しかないのぞ「利益をタラフを得る自由な立場にある」と吐きやがった閻拔、そればかりか俺達の生活に必要な最川限度の要求を會社に出すのに夫れが「無いと吐しやがる、俺達の働いた金を遊んで食つて居る奴には俺達の苦しいのが判るものか、だから双等は要求を出すのが不思議であり不当の様に考へるので俺達の要求の通るのには彼双等の遊興費を減らす事に考へるから反對するのだ、こんな事位従業員は皆知つて居るぞ双等は俺達が團結する事が恐ろしいのだから之を切崩そうとして煽動されたりだと會社と徳和に話を進め「……」とかトドくしく慈悲を説く言を不購せんとするのだ俺達は何時も是の手をゴマ化して居るのだ、だがもう其手にや乗らぬぞ、俺達の要求は生きか爲の要求だ、